

横浜市立桜岡小学校
令和3年度 学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
共に生きることを喜ぶ、かしこく、たくましい子に育てます。	<多様性を認め、共生し合う力> <自ら意欲的に学ぶ力> <心身ともにたくましく生きる力>

(2) 中期取組目標

中期取組目標
「人間関係の育成・学力の向上を目指す学校」「生命・安全、人権を大切にする学校」「使命感をもつ教員がいる学校」「地域社会のネットワークを生かす学校」を指針とする、桜岡小チーム力を伸ばします。 ○子ども一人ひとりが共に生きることを喜び、かしこく、たくましく生きることができるよう、人間関係を育みながら、思考力・判断力・表現力を育み、基礎学力をしっかりと身に付けさせるようにします。 ○子ども一人ひとりに、善いもの・美しいもの・尊いものに憧れる豊かな情操と、人権意識をハグ君、自分の生き方を見つめる力を育てます。 ○教職員のチーム力を向上させ、学校運営協議会・PTA・桜岡学援隊との円滑な連携を組み、地域に根ざした安心・安全な学校づくりを推進します。

(3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野		具体的取組
生きてはたらく知	学び合いの中で、自分の考えや思いを深められる子を育てる。①子ども達が学び合いの中で、自ら語りたくなる「魅力ある授業」を行い、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行う。②資質・能力の育成をより進めるためにグランドデザインを活用したカリキュラム・マネジメントに取り組む。	
担当		
学力向上委員会		

2 学校評価アンケートからの実態把握

(1) 経年変化の状況と要因の分析

昨年度の「さくらっ子アンケート（子ども）」の中で、「授業中、自分から進んで学習に取り組んだり、自分の考えを誰かに伝えるために努力したりしていますか」では、約一割の児童が「あまりあてはまらない」、または「まったくあてはまらない」と回答していた。自分の思いや考えはあっても、自分の言葉で伝えることに自信がなく、伝えることに躊躇する子ども達の姿が見られるなどの課題があげられた。また、学び合いの中で考えを深める姿がどのような姿と捉えていくのかが明確になっていないなどの課題があげられた。子ども達が学び合いの中で、自ら主体的に自分の思いや考えを伝えるには、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善をさらに行うことが必要であると考え。さらに、子どもたち一人ひとりが自己肯定感を高め、人と人とのつながりを大切にした授業改善を行い、自分の思いや考えを深められる子を目指していきたい。

3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	自分の思いや考えをもち、相手に伝えようとする	○生活に結びついた学習活動を取り入れ、基礎・基本となることを身に付けられるようにする。	○学習のめあてを明確にし、児童が目的をもって、学習に取り組むことができるようにする。

		○活動や体験を通して自分と身近な人と関わり、感想や考えをもつことができるような機会を設ける。	○活動や体験を通して自分と身近な人と関わり、感じたことや考えたことを伝えることができる場面を設ける。
2年		○学習のめあてや学習計画を明確にし、児童が目的や見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。 ○繰り返し学習することを通して、基礎・基本の定着を図る。	○既習の内容や新しい知識の中から自分の考えをもち、友達とのかかわり合いの中で感じたことや考えたことを伝えたり、受け止めたりできるようにする。 ○繰り返し学習することを通して、基礎・基本の定着を図る。
3年	自分の思いや考えを進んで伝え合っている。	○既習事項との関連に気付き、自分なりの方法で課題に取り組む態度を育てる。 ○自分の思いや考えを大切に発言したり、記録したりしながら、学習に取り組めるようにする。 ○自分の言葉で相手に伝えたり、伝える手段を選んだりして、交流を楽しむ機会を設ける。	○既習事項を生かし、新たな発見から新しい課題を見つけ、主体的に取り組む態度を伸ばす。 ○友達とのかかわりに必要感をもち、その中で発見したことを認めたり自分の考えに生かしたりしながら学習を進め、互いの良さを見出すことができるようにする。 ○伝えたいという思いをもち、自分の言葉で相手に分かりやすく伝えたり、伝える手段を選んだりして、交流を楽しめるようにする。
4年		○活動や体験を通して考えたこと、分かったことを、言葉や文章で表現する機会を多く設ける。 ○タブレット端末を活用して、学習への興味が持続できるようにする。	○自分の思いや考えを交流する機会を多く設け、学び合うことで考えが深まることを実感できるようにする。 ○タブレット端末を有効的に活用し、学習への興味を持続させるとともに、自分と友達の意見を比較することができるようにする。
5年	相手に自分の思いや考えを進んで伝え合い、さらに自分の考えを深める。	○課題に対して自分の思いや考えをもち、課題を解決できるように基礎的・基本的学習内容の習熟を図る。 ○関連付けたり分類・整理したりして考える学習と振り返りを計画的に位置付ける。	○根拠を明確にして相手に話したり、聞きとった内容を自分の考えと比較し、経験を加えて拡張したりして話し合うように指導する。
6年		○自らの課題を解決する学習を通して基礎・基本の習熟を図る。 ○タブレット端末を活用し、情報の収集・選択・整理・分析を行い、自分や友達の考えを明確化する。	○自らの課題を解決する学習を通し問題解決の能力を伸ばす。 ○タブレット端末を活用し、情報の収集・選択・整理・分析を行い、自分や友達の考えを明確化し、深まった自分の考えをアウトソーシングする。
個別支援学級	友達との関わりを大切にしながら自分に自信をもって取り組もうとする子	○子ども一人ひとりの実態把握を行い、個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づいた支援や指導を行う。友達同士との関わり合いを広げ、子どもの実態や発達段階に応じた適切なコミュニケーション手段を活用する場面を位置付ける。	○子どもたちがやりたい、知りたいと感じられるような学習課題を展開し、教材教具の工夫を行う。また、友達と関わる良さを感じられるような活動を取り入れ、体験的な活動を通して自己肯定感を養いながら前向きに学習に取り組む。

